



作成日：2026年2月6日

UNIFIED CAMPUS CUP@順天堂大学さくらキャンパス

実施報告書



2026年1月25日（日）に順天堂大学さくらキャンパスにおいて、スペシャルオリンピックス日本（SON）地区組織所属のアスリートと大学生が、ユニファイドスポーツ®を通して交流する「UNIFIED CAMPUS CUP」を開催いたしました。

本イベントは、スペシャルオリンピックス（SO）に興味をもち、将来的にパートナーやコーチとして参加する学生を増やすこと、ユニファイドスポーツ®を通して、共に練習や試合を行うことで、アスリートとパートナーの理解促進につなげること、また、大学対抗形式の交流試合を通じて、障害の有無に関わらない仲間づくりを促進し、ユニファイドスポーツ®の魅力と楽しさを体験・発信することを目的に開催いたしました。

なお本イベントは、SO国際本部、及びSOアジアパシフィックを通じた Nike, Inc.の助成金事業として実施いたしました。

【イベント概要】

- 名称：スペシャルオリンピックス日本 UNIFIED CAMPUS CUP
- 日時：2026年1月25日（日）10:00～16:30
- 会場：順天堂大学さくらキャンパス 第一体育館（コスモホール、バスケ館）
- 実施内容：ユニファイドフロアボール交流試合、eスポーツ体験
- 参加者：102名（アスリート29名、パートナー24名、コーチ12名、学生ボランティア23名、運営スタッフ14名）
- 主催：公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
- 共催：順天堂大学
- eスポーツ体験運営：テクノツール株式会社



〈参加チーム〉

- SON・東京①×横浜国立大学
- SON・東京②×順天堂大学
- SON・東京③×横浜国立大学
- SON・千葉×順天堂大学
- SON・埼玉×横浜国立大学

【イベントの様子】

〈全体ウォーミングアップ・合同練習〉

SON スポーツウェルネス委員会メディカル部会の先生方のご指導の下、全体でのウォーミングアップを行いました。身体が温まったところで、チームごとの自己紹介や合同練習を行い、チーム内の交流を深めました。



〈交流試合・eスポーツ体験〉

午後は 5 チームの総当たりの交流試合を行いました。大学生がパートナーとして参加したことで、非常にスピード感のある白熱した試合になり、障害の有無にかかわらず、共にユニファイドフロアボールを楽しんでいる姿が見られました。また、会場には e スポーツ体験ブースを設置し、試合の無い時間にもチーム内の交流を深めていただくことができました。





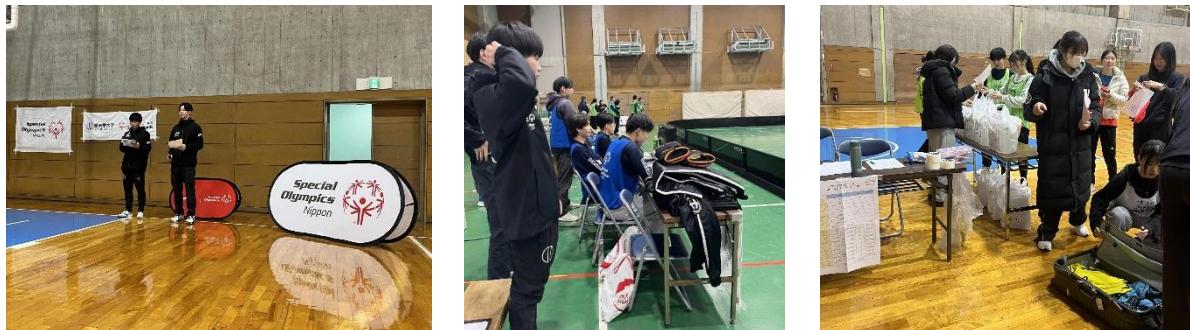
〈閉会式・表彰〉

閉会式では、SONより平岡理事長とSON理事で順天堂大学教授の渡邊先生がプレゼンターを務め、全員表彰を行いました。各チームからアスリート、パートナーそれぞれに感想を発表してもらいました。



〈運営〉

本イベントの運営は、SONでインターンシップを行っている順天堂大学大学院生の2名を中心に、23名の同大学学生ボランティアの皆さんにご協力いただきました。



〈参加者からの声〉

■アスリート

「合同練習の時も、大会の時も、僕の事をあだ名の〇〇と呼んでくれて嬉しかったです。大会の帰りにも、「〇〇、またね」って言ってくれて嬉しかったです。また横浜国立大学のみんなと頑張りたいです。」
「学生さんと交流試合が楽しかった」
「e.スポーツは、普段やらないので、楽しく感じました。」

■パートナー

「様々な企画を通じて多くのアスリートの方と親睦を深めることができ、非常に充実した半日となった。」
「試合に白熱しすぎて、ちょっと反省するぐらい、純粋にスポーツとして熱中できた。楽しかったです。」
「フロアボール一種目だけでなく、ウォーミングアップや e スポーツを通しての交流もできたことがとてもよかったです。」
「スポーツを通して初対面の人でも、楽しく関わることができて良かった。この貴重な体験は、これからも忘れないで、思い出として残し続けたい。」

■コーチ

「普段のプログラムより、若い世代のパートナー(学生)が参加してくれたので、喜んでいるように見えました。」
「若い学生と触れ合うことでアスリートが嬉しそうでした。」
「目が輝いている。普段のプログラムでは、味わえない充実感に浸っている感じ。」
「普段では触れ合う機会が少ない学生さん達との交流に、アスリートは目を輝かせていました。」

■ファミリー

「孫も喜んでいました。大会の帰りにも孫の名前を呼び、「またね～！」って声を掛けて下さった横浜国立大学の生徒さんには、大変嬉しく涙が出そうになりました。孫本人も、また横浜国立大学の生徒さんと頑張りたいですと、言っています。」
「職場以外でなかなか健常者の方と触れ合う機会がないので、とても貴重な良い経験をさせて頂いたと思います。企画してくれた方々にも、参加してくれた学生さん達にも感謝です。」
「試合のあいまに e スポーツがあり待ち時間が少なかったのはすごく良かったと思います」

スペシャルオリンピックス日本は、これからも若い世代も気軽に参加できるようなイベントや交流の場を提供し、アスリートとパートナーが互いに刺激し合いながら成長できる、多様性を尊重する社会の実現を目指してまいります。